

下記臨床研究は「東海大学医学部臨床研究審査委員会」の承認および研究機関の長の許可を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は、下記お問い合わせ先までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。但し、そのお申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。なお、同意の有無が今後の治療等に影響することはありません。

## 選択的尿酸再吸収阻害薬の有効性、安全性の検討に関する研究

### 1. 研究の対象

2020年1月1日から2023年9月1日までの間に当院循環器内科で選択的尿酸再吸収阻害薬を使用した方

### 2. 研究実施期間

機関の長の許可日 から 2025年12月31日 まで

### 3. 研究目的・方法

目的：高尿酸血症は生活習慣に影響されますが、最近では高血圧、糖尿病、心不全において、尿酸再吸収促進されている状況であることが報告され、高尿酸血症に密接に関与すると報告が多くされています。高尿酸血症は腎機能障害のリスクとなるため、適切な尿酸降下療法が必要であり、尿酸生成薬、尿酸再吸収阻害薬を中心に治療が行われています。選択的尿酸再吸収阻害剤（一般名：ドチヌラド、商品名：ユリス）は2020年より使用可能となった薬剤であり、既存の薬と比べて腎臓への負担が少なく、腎機能障害の進展を遅く出来る可能性があるとして報告されている一方、心不全患者の高尿酸血症に対しての効果についての検討はほとんど行われておりません。循環器内科では、心不全で通院されている方が多く、必然的に高尿酸血症を有している方が多いです。そのような方は、痛風予防はもちろんですが、腎機能障害悪化予防が求められます。今回は心不全患者の選択的尿酸再吸収阻害薬の使用において、血液検査、尿検査などのパラメータの変

化、心不全入院、腎機能障害悪化の有無、それらのリスク因子を検討することを目的としています。

方法：この研究に使用する情報として、診療情報から項目3に記載する情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用しません。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

#### 4. 研究に用いる試料・情報の種類

診療情報等：患者情報（診断名、年齢、性別、治療歴など）

検査結果（血液検査、尿検査、心エコー、心電図など）

#### 5. 情報の提供先・提供方法

提供予定はありません

#### 6. 利益相反に関する事項

この研究は、特定企業等からの資金提供はないため利益相反はありません。

#### 7. お問い合わせ先

東海大学医学部付属病院 （電話：代表 0463-93-1121 内線：5125）

研究責任者 内科学系循環器内科学 村上 力

問い合わせ担当者 内科学系循環器内科学 村上 力